

さくらまつり & 春の訪れを感じてください

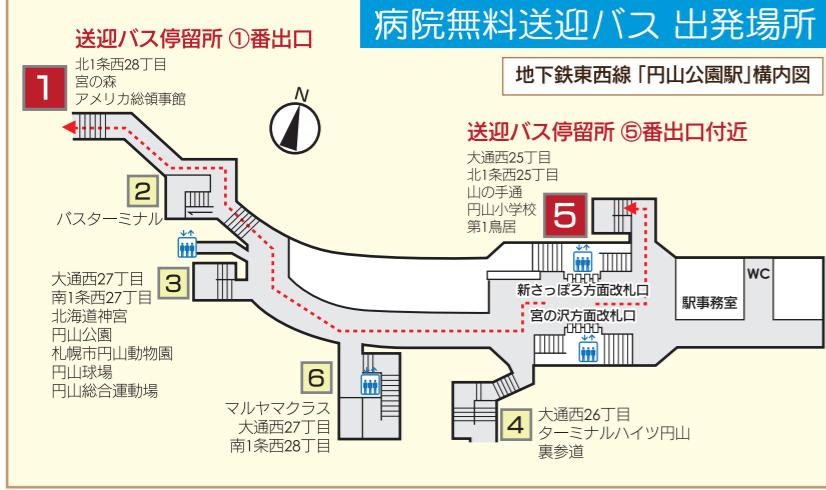
毎年恒例となりました「さくらまつり」を4月24日から5月8日まで開催します。

患者様に春の訪れを感じて頂けるよう、総合受付前に桜の生花を生け、喫茶ひまわりには桜の飾りつけをしておりますので、院内でも春らしい雰囲気を感じて頂くことができたらと思います。また同時に、「端午の節句」として、6階和室、7階サンルームに五月人形を展示しておりますので、ぜひ機会がございましたらご覧ください。



無料送迎 バスのご案内

●地下鉄東西線「円山公園駅」より無料送迎バスを運行しておりますので、ご利用ください。(約10分)



無料送迎バスは②番出口/バスターミナルからは乗車できませんので、ご注意ください。
時刻表※のバスは、地下鉄円山公園駅⑤番出口発。その他はすべて①番出口となります。
時刻表★のバスは、土日祝祭日は運休となります。

編集後記

暖かい日も徐々に増え、段々と外に出かけやすい季節になってきましたね。ゴールデンウィークはどこかへ出掛けましたか？来月6月にはワールドカップロシア大会が開催されます！日本はコロンビア、セネガル、ポーランドと対戦するようです。勝敗がいまから気になりますね。頑張れ！日本！

「にしまるやま通信」についてのお問い合わせ先

医療法人 溪仁会 札幌西円山病院 地域連携推進室 TEL: (011) 644-1380 FAX: (011) 642-4347
〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25 札幌西円山病院 地域連携推進室 広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

No.110

ご自由にお持ちください
発行日: 2018.5.1

気持ちの良い季節になりましたね

にしまるやま通信



撮影者/R.T

特 集 人生の最終段階における本人の尊厳について

- ・リハケンくんの介護予防コラム始まります
- ・医療公開講座のお知らせ
- ・季節の行事～さくらまつり
- ・無料送迎バスのご案内



病院のご案内 診療科目／内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
病床数／603床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、リハビリテーション病棟)

人生の最終段階における本人の尊厳について

経営管理部兼地域連携推進室 大植 友樹



皆様は、ご自身が治らない病気にかかり、人生の最終段階に入った時にどこまでの医療をどの場所で望むか考えたことはありますか？病院ではこの時期の医療を終末期医療と言います。日本では、最期を迎える場所が昭和50年頃を境に自宅よりも病院が上回り、近年では在宅医療の推進から多少の変動はありますが、病院で亡くなる方の割合が8割近い状況です。

2013年3月より厚生労働省の、「終末期医療に関する意識調査等検討会」が「人生の最終段階における医療に関する意識調査」を実施しました。調査結果では、人生の最終段階における治療方針の決定方法に関し、自分の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について家族に全く話していない割合が56%、一方で自分が判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかを示しておきたい事については70%が賛成であると回答しました。

厚生労働省では、同年に「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」を通知し、各医療機関等に推奨していましたが、同年の調査結果(下部グラフ)では、本ガイドラインは医師・看護師共に「参考にしていない」「ガイドラインを知らない」が半数を超え、「参考にしている」は2割に満たない状況でした。このような調査結果を背景に2018年の診療報酬改定にて、主に長期に渡り療養が必要な方を受け入れる医療療養病床では「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ、入院時に治療方針に関する患者又はその家族等の意思決定に対する支援を行うことを明示しました。本プロセスとは、当然ではありますが何よりも本人の意思を確認することが最優先であり、医療者から本人へ適切な情報提供と説明をし、心身の状態の変化によって本人の意思は変化しうる物として日頃から意思確認する場を作ります。本人が意思確認できない場合には、本人の意思を推定する家族等の信頼できる人を前もって決めておき、単身世帯が増えていくことも想定し家族だけに限った体制にしていないことも特徴です。どの方法でも患者の意思が確認できない場合には患者にとって最善の治療方針を医療・ケアチームで慎重に判断し、状況に応じて専門家で構成する委員会に助言を求めていきます。2018年の診療報酬改定を機に医療機関でもご本人の意思を確認する体制を強化する機会となるでしょう。

人生の最終段階における医療に対する国民の关心や希望は様々であり、思いを支えることができる相談体制やそれぞれのライフステージに適した情報を医療者や支援者が提供することが大切であり、最後まで尊厳を守っていくために、国民と医療者が共同して作り上げていく必要があります。皆様は、ご自身の人生の最終段階の事をどのように思っていますか？

◆「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の利用状況



出典：厚生労働省ホームページ「人生の最終段階における医療に関する調査(平成25年)」



2018年4月から円山西町町内会とのコラボレーション事業として「にしまるリハビリ健診」を開始します。そのイメージキャラクターを務めるリハケンくんが、1年間介護予防に関する情報を提供します。

介護の原因 最近よく聞く「フレイル」知っていますか？

フレイルとは「体の予備力が低下し、身体機能障害に陥りやすい状態」とされ、日常生活活動に支障を生じる前段階の状態として定義づけられました。フレイル状態に至る要因は多様であり、身体的、認知的、社会的側面から捉える必要があります。身体的フレイルでは5つの構成要素が示されています(表1)。3つ以上当てはまるフレイル、1～2つでは健康状態とフレイルの中間としてプレフレイルに該当するとされています。将来2年間にわたる要介護発生のリスクは、健康状態の高齢者に対しフレイル該当者で4.7倍であったと報告されています [Makizako 2015]。フレイル状態について自己認識するために定期的に体力測定を行い、我が事としてフレイルを少しでも意識した生活を営むことが予防する上で大切となります。



構成要素	評価内容および基準
体重減少	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少
筋力低下	男性<26kg 女性<18kg ※参考)新品のペットボトルの蓋が開けられない
疲労	【ここ2週間】わけもなく疲れたような感じがする
歩行速度の低下	通常歩行速度 < 1.0m/秒 ※参考)点滅中に横断歩道を渡りきれない
身体活動の低下	「軽い運動・体操」および「定期的な運動・スポーツ」のいずれもしていない

表1 国立長寿医療研究センター老年症候群研究プロジェクト[NCGG-SGS]での判定基準
※参考)自宅で確認することが難しいため、あくまでも目安の一つとして参考にしてください。

地域で暮らす高齢者のための 医療公開講座 のお知らせ

3月31日(土)に第36回医療公開講座を開催いたしました。今回は、大植社会福祉士と鈴木社会福祉士が『医療保険・介護保険は今度どうなる？～全世代型の社会保障を目指した地域包括ケアシステム構築に向けて～』と題して、医療保険・介護保険の成り立ちや、2018年度の診療報酬と介護報酬の同時改定の概要についてお話ししました。

今後も、様々な職種が同じテーマでそれぞれの専門的な立場からお話しさせていただき、地域の皆さまの健康増進に寄与できればと考えています。

地域で暮らす高齢者のための 医療公開講座

会場：かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）
時間：13:30～16:30 参加費：無料

通算回	日 時	会議 室	テマ
第38回	5月12日(土)	820会議室	今の生活を見直しませんか？ ～生活習慣病と食事療法～

お問い合わせ先

電話：011-642-4121(代表) 担当：企画課 稲垣、佐藤
メール：inagaki-chi@keijinkai.or.jp